

# TIM PRESS

Vol.54

真の企業競争力を実現する

ネクストノーマルを  
リードする  
真の働き方改革とは？

成功のカギは業務プロセスの  
デジタルオートメーションにあり





株式会社NTTデータ イントラマート  
代表取締役社長 中山 義人

アフターコロナとかネクストノーマルなどの言葉にあるように、コロナ騒動を境にしてこれまでにない大きな変化が出てきています。私は街中を歩くのが好きなのですが、その中でいろんなことに気づくようになりました。

例えば、街中の店舗にテイクアウト専門店がやたらと増えてきましたよね。いずれもカステラ専門店やフルーツ大福専門店など、かなりニッチに専門化しています。緊急事態宣言時にはどのレストランも「TakeOutやってます!」という看板を掲げてがんばっていたのですが、それらレストランの中でも閉店してしまったところが、テイクアウト専門店としてリニューアルしているようです。おそらく家賃の低下とデリバリー網が整備されてきたことで、ニッチでも採算に合うようになったのだと思います。

また、私は週末によく駒沢公園に行くのですが、やたらとワンちゃんが多くなってきました。コロナ前と比べても明らかに増えています。これもこのテレワーク環境下でワンちゃんを飼う人が増えたことが要因と見ています。こんなふうに見ても変化がないような中にも、確実に断層的な変化は起きており、それに何も気づかずにいる会社は、理由もわからないまま淘汰されてしまうのかもしれない。逆に言えば、気づく会社には大きなビジネスチャンスが生まれてくるのではないのでしょうか。

今号の特集はintra-mart LIVE 2020のダイジェストです。この今起き始めている大きな変化を念頭にお読みください。

## 米ガートナー社が発行する iBPMSの市場レポート最新版 「Market Guide for Intelligent Business Process Management Suite 2020」

NTTデータイントラマートが iBPMSマーケットのRepresentative Vendorの1社として掲載されました!



マーケット・ガイドは、IT分野で世界有数のリサーチ&アドバイザー企業である米ガートナー社が発行する市場レポートの1つです。ガートナーによると「新しい市場が出現し、製品/サービスやユーザ要件が流動的になると、ソリューションの比較は困難であることが多く、競争上の位置付けはあまり役に立ちません。また、市場が成熟して製品/サービスの互換性が高まると、市場自体に関する分析や推奨などの競争上の位置付けの重要性は低下します。これらのシナリオにおいて適切な知見を提供するのが、マーケット・ガイドです。」としています。

イントラマート社は、今回のレポートの評価にふさわしいiBPMSベンダーとして、BPMを中心に業務プロセス全体のデジタル化・自動化を実現するデジタル・プロセス・オートメーション・プラットフォームによって、今後も企業のデジタルトランスフォーメーションを力強く推進します。

出典：ガートナーリサーチ・メソッド「マーケット・ガイド」

<https://www.gartner.com/en/research/methodologies/market-guide>

ガートナー Magic Quadrant for Intelligent Business Process Management Suites, Rob Dunie et al., 30 Jan 2019  
ガートナー Market Guide for Intelligent Business Process Management Suites, Tushar Srivastava et al., 17 Nov 2020



ガートナーは、ガートナー・リサーチの発行物に掲載された特定のベンダー、製品またはサービスを推奨するものではありません。また、最高のレーティング又はその他の評価を得たベンダーのみを選択するように助言するものではありません。ガートナー・リサーチの発行物は、ガートナー・リサーチの見解を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーは、明示または黙示を問わず、本リサーチの商品性や特定目的への適合性を含め、一切の保証を行うものではありません。

レポートについてはガートナー社のサイトからご確認いただけます。  
Market Guide for Intelligent Business Process Management Suite 2020  
※ レポートの内容についてはGartner社リサーチ購買権が必要となります  
<https://www.gartner.com/en/documents/3993207>

イベント出展のお知らせ

## 第4回 営業支援 EXPO 春

2021年1月27日(水)～29日(金) 会場：幕張メッセ

営業、マーケティング、経営者が多数来場する営業強化・効率化のための商談展に、intra-martが以下サービスをテーマに出展します。

### Accel-Mart

クラウド環境でintra-martをスピーディーに導入!

### intra-mart DPS for Sales

日々の営業活動を可視化。様々な機能が使えるオールインワンサービス営業支援ツール(SFA)



よりご確認ください。

イベントは事前申し込み制です。詳細、お申し込みは下記URL皆様のご参加、お待ちしております。

<https://www.sp-world-spring.jp/ja-jp/about/ssesp.html>

## 編集者より一言

こんにちは! イントラマート季刊誌「IM-Press」編集担当の藤原です。今号は、11月に開催した弊社年間最大のイベント「intra-mart LIVE 2020」をメインテーマとしました。本イベントでは、「働き方改革/脱ハンコ」「ローコード開発」「業務プロセス改善」の3つをテーマに、様々なオンラインセッション、オンデマンド動画・コンテンツ配信を行いました。特集記事ではintra-mart LIVE 2020のハイライトをダイジェストでご紹介しました。他、intra-martに関する注目の最新情報が満載ですので、ぜひご一読くださいませ!

コロナの影響で、2020年に企画したイベントはほぼすべてオンラインでの開催となりましたが、その集大成とも言えるビッグイベントが滞りなく終わり、ほっと一息ついているところです。



## 第1回 イントラマート アンバサダー杯

アンバサダー同士の交流の一環として、有志メンバーでプライベートゴルフコンペを開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、参加者の限定とソーシャルディスタンスを意識しながらのラウンドとなりました。現在、イントラマートアンバサダーは約150名程おり、日頃あらゆる場面において、イントラマートビ

ジネス推進に向けた様々な活動を個々に行っていたいております。今年はコロナ禍ということもあり、メンバー一堂に会しての機会が減ってしまいましたが、オンライン分科会、icottoサイト等を通じて、同じ想いも持ちながらビジネスを盛り上げてくださっています!



### ▶ イントラマート アンバサダー (IM-Ambassador) とは?

intra-martビジネスをリードする大使として認定された、イントラマート社独自の認定制度。intra-martに関する日々の活動をポイントで管理し、積極的に活動いただくことで、どなたでもアンバサダーとしての認定のチャンスがあります。  
\*アンバサダーならではの特典もあります!



### ▶ コミュニティサイト「icotto」とは?

イントラマートパートナー、お客様、イントラマート社をつなぐコミュニティサイト。このサイトでしかご覧いただけないコンテンツも公開されておりますので、ぜひご登録ください!

<https://icotto.intra-mart.com/imart/login>

関連記事

NTTデータ イントラマート  
お客様・パートナーとのエンゲージメント向上を目指す「アンバサダー制度」を開始(2019年7月プレスリリース)  
<https://www.intra-mart.jp/topics/2019/006142.html>

# intra-mart 2020 LIVE

## 業務プロセスオートメーションの祭典!

～ネクストノーマルを考える4日間のオンラインイベント～

2020年11月17日(火)から20日(金)までの4日間、イントラマート社年間最大のオンラインイベント「intra-mart LIVE 2020」を開催しました。先行き不透明な今、社会も企業も変化が求められています。立ち止まらず成長し続けるために、私たちができること、これからやるべきことは何なのか。本特集記事ではKeynote Sessionにスポットを当て、ダイジェストで内容をご紹介します。



株式会社NTTデータ イントラマート 中山義人

### Keynote Session

## ネクストノーマルをリードする真の働き方改革とは?

～成功のカギは業務プロセスのデジタルオートメーションにあり～

### 1 働き方のネクストノーマルとは?

4月に入り急遽始まった緊急事態宣言以降、2020年はてんやわんやの1年でしたね。まだコロナによる感染リスクの拡大は続きますが、それでもようやく次を見据えてどうすべきかを真剣に考えていく余裕も出てきたと思います。

コロナ後に始まる様々な断層的な変化は「ネクストノーマル」として常態化し、決して元に戻ることはないトレンドとなるでしょう。

では、私たちの働き方はどう変化するのでしょうか。

私は、「いつでも」「どこでも」「誰とでも」として、時間や場所、組織・会社を超えた働き方が常態化すると考えています。

**「いつでも」**  
すでに本業仕事の合間に副業をしたり、途中で子供の送り迎えをしながらその前後で働くなど、働く時間を自分でコントロールできるようになってきました。仕事は働いた時間ではなく成果で評価されるようになっていきました。

**「どこでも」**  
もうすでに普通のことになっていますね。自宅からでも、外出先からでも、ロケーションを選ばずセキュアにシステムにアクセスして業務が可能状況になっています。

**「誰とでも」**  
今までよりも簡単に組織をまたがった会議や、場合によっては別会社の方とすぐにつながり、ナレッジを共有できるようになりました。

そして、このテレワークから始まった「いつでも」「どこでも」「誰とでも」は、業務のデジタル改革によってより一層加速し、働き方は今以上に柔軟でいきいきとしたものになっていくと考えています。

### 2 業務のデジタル改革のポイント

それではこの「いつでも」「どこでも」「誰とでも」を実現する業務のデジタル改革を進めるポイントについて見ていきましょう。

#### (1) ペーパーレス・ハンコレスはデジタル化のスタートライン

最近、どの会社も慌てて始めているペーパーレス・ハンコレス。しかし入り口だけデジタル化しても、その背後が旧態依然としたプロセスのままでは無意味です。組織やシステムごとに分断されている後続プロセスの見直しで初めて効果が出ます。

#### (2) 業務改革はビッグバンではない

業務プロセスのデジタル改革はERPのようなビッグバン型ではありません。DXはたくさんの改革が試行錯誤しながら連続で進展していきます。実業務でのスモールトライアルで効果を確認しながら徐々に前進し、As-IsからTo-Beへと変化していきます。

#### (3) 現場が改革業務の主役

ERP導入ではIT部門が主役でした。しかし業務のデジタル改革は現場が主役になります。また、人事や総務、経理などのバックオフィス部門も事務業務から解放され、制度設計や戦略策定などのコア業務に関与するようになってきます。ここでは、一番業務を理解している現場主導で、内製・アジャイルによるアプリケーション開発が進展します。

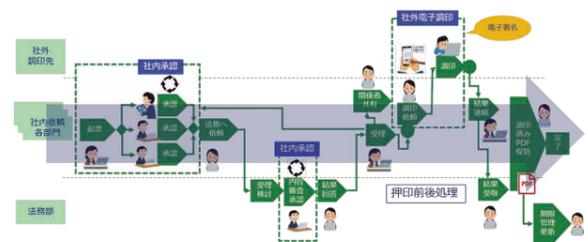
### 3 実現に向けた3つのシナリオ

次に業務のデジタル改革に向けた3つのシナリオを、以上のポイントを踏まえて見ていきましょう。

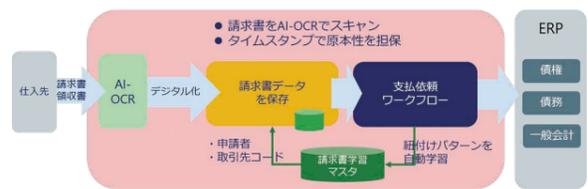
#### (1) ペーパーレス・ハンコレス × ワークフロー

ペーパーレスによるデジタル文書の後続処理をワークフローで自動化します。組織やシステムを横断して業務プロセス全体の自動化を実現することができます。また業務プロセスの途中で電子署名などと組み合わせたハンコレスも実現可能です。intra-martではすでに電子署名ベンダーと簡単に接続できるソリューションを発表しています。

ハンコレスのワークフロー導入事例として、三菱ケミカルシステム株式会社から講演をいただきました。

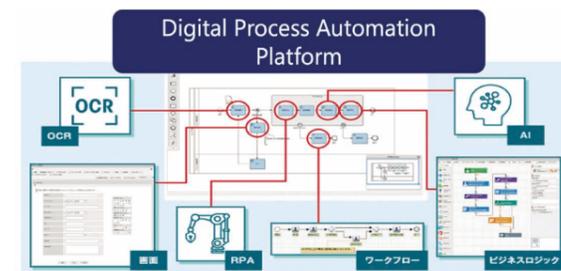


これらの技術を活用して、電子帳簿保存法に対応した請求書のデジタル化ソリューションをリリースします。外部からの請求書の取り込みからワークフロー、さらにはERPへの登録までをワンストップで自動化し、利用を重ねれば重ねるほど紐付けパターンをAIで学習していきます。



#### (2) 業務全般のオートメーション × 業務パフォーマンスの可視化

BPM/ワークフローと、OCRやRPA、AIなどの最新デジタル技術を組み合わせ、業務プロセスのフルオートメーション化、インテリジェント化を実現します。



特に、RPAとBPMを連結することで全体プロセスの自動化を実現したいというニーズに応え、住友林業情報システム株式会社と「ロボポータル」を共同で開発しました。すでに大きな導入効果が出ています。

#### 住友林業情報システム株式会社

intra-mart BIORAを基盤に共同開発した「ロボポータル」



✓ RPAによる自動化は進展したが、一部業務のみの効率化

➢ 人とロボをコントロールし、パトナリレーしながら業務全体を実行

➢ 業務全体のパフォーマンス測定による継続的な改善

製造や物流部門と違い、これまで業務部門では品質と生産性を継続的に測定する仕組みはありませんでした。シェアードサービス部門においても、人の集約で効率化が止まり、デジタル化や継続的な改善までは到達しないケースが多かったと思います。しかし、これからは事実データに基づいた正確な業務パフォーマンスを継続的に管理できている企業と、そうでない企業との生産性の差は圧倒的に拡大していきます。さらにこれらのパフォーマンスを可視化することは、現場メンバーのモチベーション向上にも大きな影響を与えることができます。



イントラマート社では、社内部門の中でも一番属人性が高く、業務改革に遅れていた「営業部門」を対象とした営業支援ソ

ソリューション「DPS for Sales」をリリースしました。俺流営業による属人化の排除と徹底した標準化、多重入力からシングルインプット&オートメーションによる効率化と自動化を実現します。

### (3) ローコード開発 × アジャイル開発

IT部門だけでなく、業務部門まで含めた圧倒的な開発生産性を実現するローコード開発のニーズが高まってきました。当日は、IM-FormaDesignerによるNotesリプレースを実現したリコーグループの事例や、2019年度新たにリリースした「IM-BloomMaker」をローコード開発標準ツールとして採用いただいている事例が発表されました。

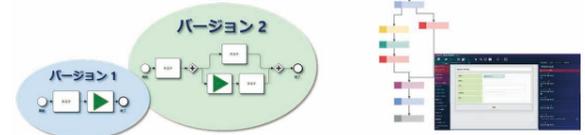


ローコード開発では「いかに素早く開発できるか」に焦点が当てられがちですが、もう1つ重要な指標があります。それは「いかに簡単に修正できるか」という視点であり、アジャイル開発を実現するためのベースとなります。

intra-martには、開発フェーズ全般を通じて、業務プロセスもアプリケーションも常にアップデート可能な仕組みが提供されています。

### 01 ライブマイグレーション 02 開発途中の仕様変更も柔軟

- 実行中のプロセスを新しいバージョンへのプロセスに移行可能
- 要件定義で開発したモック画面を次工程以降で徐々に仕上げて完成
- 無停止、かつ短時間で移行



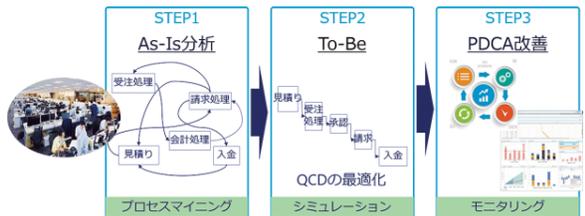
## 4 実現に向けたサポート体制

それでは、以上で述べたシナリオをどのような手順で進めていったらよいのでしょうか。ここでは実現に向けた弊社のサポート体制について説明します。

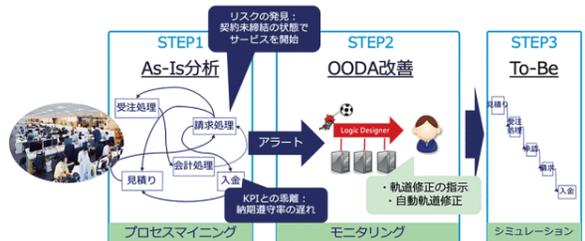
### (1) PDCA型・OODA型の業務改革

数多くの導入実績を重ねる中で、大きく2つの手法があることが分かってきました。「PDCA型のトップダウンアプローチ」では、プロセスマイニングなどを活用した現状業務(As-Is)の可視化から、あるべき業務プロセス(To-Be)をシミュレーションにより策

定していきます。このシミュレーションを通じて、RPAやBPMの導入効果、さらには人員配置の効果などを事前に把握できます。その後、PDCAサイクルにより業務改革の進展度をモニタリングしながら改善を継続していきます。



一方で、「OODA型のボトムアップアプローチ」では、プロセスマイニングによる現状業務(As-Is)の可視化までは同じですが、そこから設定したKPIに近づけていくための改善をピンポイントで重ねています。これは、プロセスマイニングを使って現状業務の遂行状況をリアルタイムでモニタリングし、アラートを自動通知する仕組みを構築することで可能となります。ピンポイントの改善を細かく重ねながら、あるべき業務プロセス(To-Be)に近づけていく手法なので、PDCA型に比べると時間はかかりますが、現場の抵抗感は少ないアプローチです。



### (2) 現場主導の改革

最後に、現場主導で進めるデジタル業務改善について述べます。イントラマート社の提供する「BPM実践ワークショップ」では、実際に業務に携わる現場メンバー参加型の研修を通じて、現場主体にあるべき業務プロセスを策定し改革構想を作り上げます。そのため、しばしば起きる業務改革の途中頓挫が起きにくいというメリットがあります。併せて継続的な業務改革のためのDX人材育成も研修を通じて実現できます。当日は、オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社から、「BPM実践ワークショップ」活用の事例紹介がありました。

以上、intra-mart LIVE 2020のハイライトを見てきました。いかがでしたか？

ネクストノーマルの働き方では「いつでも」「どこでも」「誰でも」が一層加速していきます。以前のような働き方に戻ることはないでしょう。この断層的な変化への対応に正面から取り組んだ企業は、この状況下でも大きく業績を伸ばしています。

今こそ、業務のデジタル改革に向けた一歩を踏み出してみましょう。

**例** 年会場にて開催していたイントラマート社年間最大イベント「Enterprise Web Solution(通称: EWS)」は、今年から「intra-mart LIVE」と名称を新たに全面オンラインでの開催となりました。このイベント名には、世の中がつながる・変わる・進化の中で、世の中の変化とIT(テクノロジー)の変化に直面するイントラマート社の「いま(LIVE)」を伝えるという思いが込められています。ここでは簡単ですが、4日間にわたる各セッションの様子をピックアップしてお伝えいたします。イベントにご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。皆様にお役立ていただける、ワクワクするイベントを今後も企画してまいりますので、引き続きどうぞ宜しくお願いいたします。

### Sponsor Session スミセイ情報システム株式会社

#### 経費・旅費精算、勤務管理業務の今!

～お客様の電子帳簿保存法への取り組みや事例等を交えてご紹介～

旅費精算や勤務管理を効率化し間接業務の「ムダ」を削減するワークフローシステム「Accel Kaiden!」が、コロナ禍でどのように活用されたか。三菱食品社の取り組みを例に、ペーパーレス化やJIIIMA認証製品「DataDelivery/Kaiden!」連携の組み合わせによる電子帳簿保存法(スキャナ保存要件)対応への取り組みと、利用開始後のお客様からの評価等についてお話しいただきました。



(写真左から) スミセイ情報システム株式会社 Kaiden!ビジネス推進部 マネージャ 長岡 辰幸氏 / ゲスト登壇: JEFシステムズ株式会社 プロダクト事業部 営業部 シニアセールスマネージャー 岩瀬 琢人氏

関連URL | <https://www.slcs.co.jp/products/kaiden/index.html>

### Sponsor Session ネオアクシス株式会社

#### 働き方改革推進カンパニー ネオアクシスの挑戦

～販売業務におけるプロセスイノベーションとマイニングの実践



ネオアクシス株式会社 ソリューション事業部 ソリューション開発第2部 部長 荒谷 剛氏

関連URL | [https://www.neoaxis.jp/column/event\\_002](https://www.neoaxis.jp/column/event_002)

### Sponsor Session 富士ソフト株式会社

#### 数値計画帳ご登壇!! 出版社の業務基盤にintra-martを採用!

内製化取り組みのご紹介

グループ会社を支える業務基盤をIMに移行中の数値計画帳。intra-martの拡張性、柔軟性をどのように生かし、各グループ会社の特徴に合わせたシステム構築を行ったか。業務改革を成功に導くための取り組みを対談形式でご紹介いただきました。



(写真左から) 富士ソフト株式会社 ソリューション事業本部 ソリューション営業部 リーダー 中澤 萌氏 / ソリューション事業本部 インフォメーションビジネス事業部 情報ソリューション部 イントラマートグループ 課長 隈本 禎弥氏 / ゲスト登壇: 株式会社数値計画 システム計画第三部 次長 野地川 栄光氏

関連URL | <https://www.fsi.co.jp/solution/intramart/>

### intra-mart Sessiona

#### intra-mart LIVE クッキング

intra-martの開発ってこんなに簡単!? お料理番組さながらに、「働き方改革/脱ハンコ」「ローコード開発」「業務プロセス改善」の3つのテーマに沿ってアプリケーション開発をご紹介しました。



### intra-mart Session

#### ローコードプラットフォームとしてのintra-mart Accel Platform 活用方法

intra-martはローコード開発プラットフォームとして、IM-BloomMaker、IM-LogicDesigner、IM-Repositoryなどを中心とした機能を取りそろえています。これらを利用することで、開発生産性や保守性がどのように向上するかを、具体的な事例を交えながらご紹介いたしました。

#### intra-mart LIVE 2020見逃し配信を企画中

ご好評につき、intra-mart LIVE 2020の期間限定見逃し配信を企画中です。詳細は後日、イントラマートのメルマガにてご案内予定です。メルマガでは、注目のintra-mart最新情報やイベント情報を定期的に発信しています。ご興味がある方は、ぜひメルマガの購読登録をお願いします。

メルマガ購読申し込みはこちら  
<https://accel.im/ynjscmct>

intra-mart LIVE 2020イベント特設サイト  
<https://www.intra-mart.jp/live2020/>

クラウドなら、  
すぐに始められる!



## 「Accel-Mart」なら最短5営業日で利用が可能に

intra-mart LIVE 2020のテーマの1つとなったローコード開発は、大規模で複雑なアプリケーションも短期間に効率良く開発が可能だということをご理解いただけたかと思います。他方、システム導入の観点では、時間とコストを大幅にカットして効率よく導入できるクラウドサービスを忘れてはなりません。「Accel-Mart」は、intra-martの豊富な機能やアプリケーションをお手軽な価格でクラウドとしてご利用いただけます。

ノンプログラミングで  
使える多様な機能も搭載

### Accel-Martの特長

- ◆お申し込みから最短5営業日で利用可能
- ◆豊富な標準機能を搭載
  - ・コラボレーション機能 (スケジュール/チャット/ライブラリ など)
  - ・ワークフロー / 押印機能
  - ・ビジネスプロセス作成 など
- ◆業務アプリ開発機能でシステムを柔軟に構築
  - ・ローコード開発ツール (IM-LogicDesigner)
- ◆クラウド基盤は Amazon Web Services を推奨



### テレワーク応援キャンペーン実施中

テレワークを推進する皆様に、ワークフローと電子押印機能をセットにしてAccel-Martを無償(2カ月間)で提供します。紙や押印が必要なアナログ業務のデジタル化の一歩として、ぜひご検討ください。



対象期間：2021年3月31日お申し込み分まで

◀ 詳細はコチラのQRコードから

<https://www.accel-mart.com/campaign-telework/>

## 営業改革を支えるDX基盤

テレワーク  
応援キャンペーン実施中

# intra-mart DPS for Sales

営業改革を早く小さく始めるためのintra-mart DPS for Sales クラウドサービスプランを今だけの特別キャンペーン価格で提供しています。お申し込みは1ユーザー単位から対応。キャンペーン期間中にお申し込みいただくと、この価格で永年割引!

お申し込み、お問い合わせは下記URLよりお進みください

<https://dps.intra-mart.jp/forsales/price/>



クラウド		プライベートクラウド	
フルプラン (更新ユーザー)	ライトプラン (参照ユーザー)	フルプラン (更新ユーザー)	ライトプラン (参照ユーザー)
6,000円	3,000円	5,000円	2,000円
↓	↓	↓	↓
4,500円	2,500円	3,500円	1,500円
+ 他費用は発生しません! (初期費用0円)		+ Accel-Martプラン契約 (月額27万5,000円~)	
こちらキャンペーン実施中*			

\*本キャンペーンは本ページ上部のAccel-Mart「テレワーク応援キャンペーン2カ月無料」と併用してご利用いただけます。  
\*本価格は、1ユーザーあたりの金額です。

# プロセス改革企業交流会 (PIC)

~イノベーションやDX成功の秘訣を一緒に探りませんか?~



IoTNEWS 代表  
小泉 耕二様

「ニューノーマル」の世界では、  
プライベートも仕事も大きな変化が求められています。

従来から脱却し新しいことを始めたいがアイデアが思いつかない

「DX」って結局どうしたらいいの?

他社がどんなふうに取り組みられているのか知りたい



(左から) PIC 副会長 内田直知/  
PIC 事務局長 新垣貴光

そのような時は一人で悩まず、交流会でみなさんと意見交換してみませんか。プロセス改革企業交流会(通称: PIC...Process Innovation Companies Consortium)は、intra-martユーザが否かにかかわらず、企業同士の交流の場を提供し、オープンイノベーションへの気付きを促進・お手伝いする団体です。交流会では、毎回豪華ゲストにご登壇いただいております。12月開催では『IoT/AIの導入状況、最新動向について』をテーマに、IoTNEWS 代表 小泉耕二様にご登壇いただきました。次回活動は2021年2月を予定しています。

ご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。 <https://accel.im/qsdlr9r>



## Letter from Global Team | イントラマート グローバル本部の活動紹介

イントラマート社は、タイ・香港・中国などを拠点に周辺各国を含め、グローバルにintra-martの販売を展開しています。そのマーケティング活動は、2019年パートナー契約を締結したプロセスマイニングツールの独Signavio社が本拠を置くドイツを中心に、ヨーロッパ諸国にも広がっています。今回は、Signavio社が11月に開催したバーチャルイベント「Signavio World 2020」から、弊社代表の中山とSignavio Japanのカントリーマネージャー・Thomas氏による英語でのトークセッションの一部をご紹介します。



日本のコロナ禍の状況と変化からデジタル化の潮流、Signavio社との協業によって提供する業務のデジタル化まで、Thomas氏による多岐にわたる質問に対し、中山が答え、世界にメッセージを発信しました。

デジタルトランスフォーメーションは、何のために実行されるのでしょうか? 業務プロセスをデジタル化することで、素晴らしい業績目標の達成を目指すことが1つにはあります。しかし、最終的に業務プロセスはお客様への価値を創造する必要があります。顧客視点に立って、その価値を創造する新たな業務プロセスを再構築することが重要なのです。

しかし、ニューノーマルへの移行において、「様々な業務プロセスを構築しなければならぬ」というプレッシャーがお客様にかかっています。この問題を解決するためには、上流でTo-Beの業務プロセスを策定し、下流で自動的に実行できるソリューションが必要です。当社のBPM製品とSignavioの組み合わせは、まさにそれが実現できます。

業務プロセスには各国で独自の文化があります。結果、グローバルに機能する単一の改善方法ではなく、国ごとに適合させるべきです。Signavioとのパートナーシップを通じて、日本国内とともに海外のお客様を育てていきたいと思っております。挑戦は始まったばかりです。



[Enabling New Ways of Working in the era of COVID-19]- Interview with CEO of INTRAMARTの中山のトークより一部抜粋

# 日本OMGとBPM分野の認定資格試験「OCEB 2」の企画・運営で協業

～世界標準の知識とスキルの習得を通じて、DXを推進する人材育成を支援～

2020年10月、株式会社NTTデータ イントラマート(以下、イントラマート社)と一般社団法人日本OMG(以下、日本OMG)は、BPM分野における知識・スキルを測定する、世界標準の認定資格試験「OCEB 2」の日本語版の企画運営において協業することを発表いたしました。IT関連の国際標準を規定し普及活動を行う日本OMGと、業務プロセスのデジタル化と自動化を推進するイントラマート社が、なぜ協業に至ったのか、そのシナジー効果とはどのようなものなのか。日本OMG代表理事の吉野晃生氏と、イントラマート社社長の中山義人との対談を通じて明らかにします。



中心でした。しかし、業務のデジタル・トランス・フォーメーション(DX)の流れが加速する昨今、ビジネスアーキテクトとして活躍できる人材を育成することが急務となってきています。

その背景から、DXの推進に不可欠なBPMを国内リーディングカンパニーとして牽引しているイントラマート社と協業することで、日本におけるビジネスアーキテクトの育成をスピード感を持って、より大規模に始めることができると考えました。

中山: コロナ騒動でも露呈したように、日本は世界と比べて、業務プロセスのデジタル化の遅れは明確であり、DXの基盤となるBPMの普及においても同様と言えます。欧米諸国では、大学を中心に教育課程の中でBPMを学んでおり、学生のうちから業務プロセスを体系立てながらBPMN (Business Process Model

## BPM(ビジネスプロセス管理)の知識・方法論をグローバルスタンダードに

中山: イントラマート社は、勤怠旅費といった社内申請承認を行うワークフローから、取引先まで含めた業務全体の最適化を行うBPMまで、業務プロセスのデジタル化の視点から、幅広く市場へ訴求してきました。特に日本は、業種業態ごとに固有のプロセスが存在したり、部門間調整を伴う複雑な意思決定などの業務プロセスが複雑化したりする傾向があります。

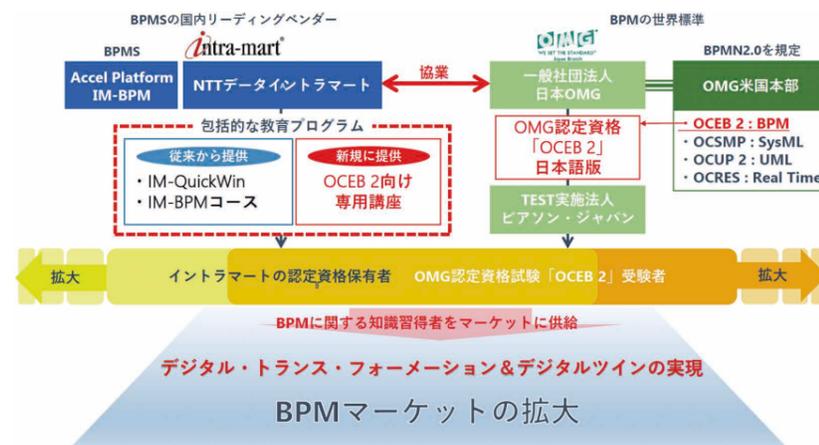
これまでも試行錯誤しながら、業務プロセスのデジタル化に向けた方法論をパートナー企業と連携しBPMの普及に努めてきましたが、OMGが長年策定している認定資格と連携することで、これまで学んだ導入方法論がグローバルでも通用する知識であると証明できるとともに、OMGのグローバルスタンダードに合わせることができると考えました。

イントラマート社のBPMツールも「BPM2.0」に準拠していますが、世界の

BPM標準認定団体から公式にオーソライズされたこととなります。

吉野: 日本は、複雑な物事を構造的に整理し再利用できる形にするというアーキテクチャの考えが弱いと感じています。欧米には、ITアーキテクト(企業の戦略に合わせてシステムの構造を設計する)とビジネスアーキテクト(企業の中で複雑な業務をひともといて可視化する)の職種がありますが、日本ではこれまでITアーキテクト

図1 協業の全体構想



and Notation: ビジネスプロセスモデルと表記法)で描くことができます。DX人材の育成を早期から行っているため、DXの実現も非常にスピーディーなのです。

吉野: 世界的なDXの加速とともに、日本でもようやくビジネス全体をデジタルの力で再構築しようとする動きが出てきました。特に昨今のCOVID-19感染拡大の影響によって、企業における業務のデジタル化とともに、BPMへの関心も非常に高まってきていると感じています。

## OCEB 2の内容と今回提供する認定資格講座とは?

吉野: OMGが提供する試験項目は非常に幅広いので、試験に対応する知識を学ぶことで、BPMに関する幅広い知識を身に付けることができます。BPMの基本を深める初級から、ビジネス系とテクニカル系に分けて行う中級・上級の3段階の構成になっています。ビジネス系は、ビジネスアーキテクトとして事業モデルのアーキテクチャ開発・推進の知識を身につけることができ、テクニカル系はITアーキテクトとしてのBPMを核とするIT基盤技術設計の知識を身につけることができます。

中山: OCEB 2の試験問題をベースにしたe-learningとマンツーマンによるサポートの2点を行います。まずはe-learningで受講いただき、必要があれば集合研修を企業に提供することも考えています。OCEB 2の過去問題を参考にしながら内容に沿ったケーススタディを準備していきます。BPMの実践的な知識を身に付けるだけではなく、DX時代の新しいビジネスモデルを創るという目的にも対応できるように体系立てて行っていきます。

まずは認定資格者のボリュームを作りたいと考えています。イントラマート社では、これまで独自の認定資格制度を設けており、すでに約2,000名の認定資格者がいます。認定者は、intra-mart製品の販売・開発を行うパートナーが大半ですが、近年は実際に製品を導入するお客様の受験も増えてきています。その方たちにも本講座を受講いただき、既存認定技術者の中から1,000名、さらに新規で1,000名の合計2,000名の認定資

図2 BPM人材育成の教育プログラム

試験対策となる専用講座をはじめ、イントラマート社の研修プログラム「IM-BPMコース」や企業のDX推進を支援するDXアプローチメソッド「IM-QuickWin」と連動した総合的なBPMの教育プログラムを提供する



- Webによるオンラインでの受講が可能
- OCEB 2の専用の教則本(デジタル版)を用いて解説 ▶ 模擬試験・過去の試験からのサンプル
- BPM分野の知識エリアとして、OCEB 2の出題全般の基礎知識を提供 ▶ 現在の知識との差分を確認し、独自の指導も提供

格者の輩出を約3年の期間で目指していきたいと思っています。イントラマート製品とは関係なく、まずはDXの基礎を習得してもらうことを目的に、多くの方に興味を持っていただきたいです。

## 企業の業務改革、日本のDXを推進する人材を育成

中山: 技術認定資格の他にも、DXに特化した教育講座も行っています。

昨今のシステム開発におけるSlerの役割は、下請け的な位置づけではなく、要件定義の段階からお客様と一緒に業務システムを作り上げていくパートナーとしての動きが増えていることから、この時代の変化をいち早くキャッチしたSlerが、主にご参加くださっています。今後は、実際にDXを推進するお客様(エンドユーザ)にも広めていきたいと思っています。大手企業を中心に、DX推進部といった現場部門自身

がDXに取り組む部署が新設される動きも増えている一方で、DXの進め方や人材育成に関する指針、教育というものが整っていないのが現状です。

例えば、部門をまたがる業務改革となると、組織や進め方の壁に当たることも多いですが、今回の講座を受講し資格を取得することで、こういった課題を乗り越えながら、自社のDX、さらには日本のDXを推進するための底力になればと考えています。

吉野: 資格取得だけではなく、資格取得者同士ナレッジ共有ができるコミュニティも設けています。このコミュニティを通じてグローバルな先進事例を学ぶことができるので、これらをリファレンスモデルとして、自分たちのプロセスに落とし込んでいく、そんなサイクルを回すこともできるのも、OMGがバックアップする大きなメリットと考えます。イントラマート社とともに、日本全体のDX推進をサポートしていきたいと考えています。

## DX人材の育成のe-learning申込受付開始!

- 【O-01】OCEB2受験対策セット(2021年1月、3月、5月試験対応)
- 【O-02】OCEB2受験対策ガイドブック(2021年1月、3月、5月試験対応)
- 【O-03】OCEB2模擬試験問題集(2021年1月、3月、5月試験対応)

詳細・お申し込みは右記URLよりご確認ください ▶ <https://accel.im/hxog0928>

## OMG(Object Management Group)について



IT関連の国際標準を規定し普及を推進する非営利団体。日本OMGはこの日本支部組織。  
 ■ 本部: 米国マサチューセッツ州ノーダム  
 ■ 設立: 1989年  
 ■ 代表: Ricard Mark Soely

## OCEB 2(OMG認定BPMエキスパート2)について

ビジネスプロセス管理を中心に、関連するGRC(Governance・Risk・Compliance)フレームワークなど幅広くBPM分野(BPMN 2・BMM・BPMM)の知識やスキルを測定するOMG認定資格試験。企業内のBPMに関与し、実際にイニシアチブを取ることができるための能力に不可欠な内容を網羅している。全世界で公開を許可した資格取得者数は、前バージョンのOCEBを含め約300名。

intra-martをご検討のお客様および導入済みのお客様向け

# One to One ウェビナーのご案内



## かゆい所に手が届く 個別のウェビナーで、 業務効率化の詳しい情報をご提供!

Webサイトや集合セミナー/ウェビナーで知り得た情報からさらに一步踏み込んで、お客様の実際の課題やご要望に則した内容で質問にお答えし、intra-martを活用した解決策をご提案いたします。オンライン(ウェビナー)で開催しますので、場所を気にせずお気軽にお問い合わせください。

### One to Oneなら

お客様1社限定で  
ご都合に合わせて  
随時開催が可能!

自社の課題や  
業務領域に適した  
具体的な内容が  
聞ける!

intra-martの  
活用事例や  
効果が分かる  
豊富なコンテンツ!

#### 現在開催中のOne to Oneウェビナー ※テーマは随時更新

- テレワークを定着させる業務のデジタル化、ペーパーレス (BPM+スキャナ・OCR連携)
- 話題の電子サイン・電子契約だけではテレワークは完結できない (BPM+電子サイン・電子契約)
- 経理業務の働き方改革
- DXを考えるためのポイントと実現メソッドご紹介
- 先進ユーザと辿り着いた業務のデジタル化、自動化のポイントとは (BPM+RPA連携)

- 先進ユーザと辿り着いたBPMを活用した業務の可視化と改善手法、デジタル化による自動化が実現する生産性向上手法ご紹介
- シェアードサービスセンターからグループBPOへの転換 デジタル業務改革 (DX化) と改革人材育成実現手法ご紹介
- intra-mart DPS for Salesのご紹介  
～毎日の日報疲れから脱却! 現場とマネージャー、どちらも使いたくなる営業支援ツールとは?～



詳細、お申し込みは下記URLよりお進みください。

<https://www.intra-mart.jp/event-seminar/one-to-one/>



上記のテーマ以外をご希望の場合、まずはご相談を。

以下より「セミナー・イベントに関するお問い合わせ」を選択の上、お気軽にお問い合わせください。

<https://lp.intra-mart.jp/inquiry-form.html>